

● 文展洋書の鑑査終る

▲ 本年は後期印象派

黒田清輝氏談

文展本年の出品数は昨年と比べると殆んど□倍であつたが入選率は寧ろ少いなぜこんなに出品が多くなつたかといふに洋畫家が年々増加した事と文展に出品が出来ぬ者は認められなくなつた事、無技巧を主張する人が増加して素人が多く出品する様になつた事其他に原因する、入選者には新しい貌も見ゆるが概して名前の知れたものが多い、本年の畫風は後期印象派が一番多く印象派及び自然派ソレに次ぎ舊式の技巧本位の寫實派は跡を止めない位である（東京電話）

『大阪毎日新聞』大正四年一〇月二日

第九回文展（大正四年一〇月二四日～二月二四日）をふまえての所感。